

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/> (群馬菱の実会ホームページ)

親睦旅行「南信州 昼神温泉郷」へのご案内

「菱の実会」恒例行事となりました「秋の親睦旅行」のご案内(下記)をいたします。今年は中央アルプス南端を流れる阿知川沿いに広がる山里の閑静な温泉地を計画いたしました。昼神温泉は、美人の湯と言われる程の良質な泉質を誇るどころです。七泉の庭園露天風呂を有す宿で、ゆったりと日頃の疲れを癒していただけるかと存じます。会員の皆様には万障繰り合せの上ご参加下さるようご案内申し上げます。詳細は、同封のパンフレットをご覧ください。

記

1. 期 日 2012年10月18日(木)～19日(金) 一泊二日

2. 集合場所 馬電正門前 午前8時45分

3. 宿泊先 湯多利の里 伊那華
下伊那郡阿智村智里 503-294
Tel 0265-43-2611

4. 参加費 男性:17,000円
女性:15,000円

(当日徴収させていただきます)

5. 行程 ■1日目 9:00 馬電正門前出発 → 諏訪IC → 信州野沢菜センター(昼食)
→ 光前寺(参拝) → 妻籠宿(散策) → 昼神温泉

■2日目 9:00 ホテル出発 → 伊那路(漬物お買物) → 水引き工芸館せきじま(見学)
→ レストハウスこまがね(昼食) → 駒ヶ根IC → 17:00 頃馬電正門前着

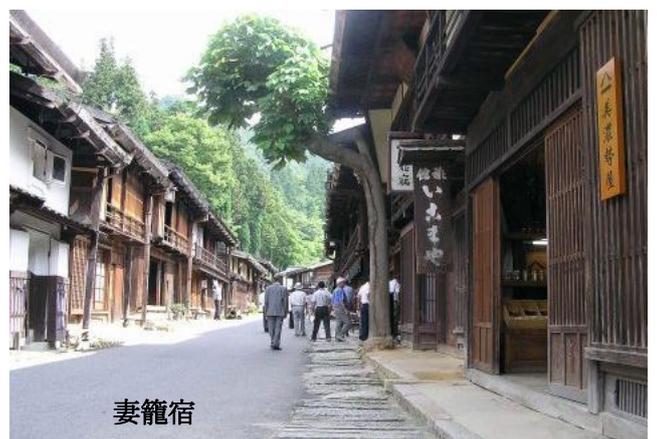
6. 申込方法 同封の返信はがきにて9月25日(火)までにお申込下さい



昼神温泉郷



妻籠宿



大昔の事です。日本武尊がご東征の帰り途、伊那谷を通過して園原の神坂峠へさしかかったとき、山と山に閉ざされて空もせまく、雲が幾重にも包んで、越す方法も知れませんでした。さすがの尊もしばらく手を組んで思案に就いていましたが、その時、悪事をなさる神が尊を苦しめようとして白鹿に化けて尊の前に立ちふさがったのです。尊は不思議に思いながら、口に噛んでいた蒜を鹿に投げつけました。それがちょうど鹿の目に当たって、鹿は死んでしまいました。ところがたちまち濃霧が巻き起こって、一寸先も見えなくなった時、一匹の白狗が現れて道に迷う尊を里へ導いてくれたのです。これ以来、神坂越えには蒜を噛んで通ると妖気に打たれる事がないと言われるようになりました。このことから「蒜噛」が、現在の「昼神」の語源になったという説があります。

昼神温泉は、信州の南に位置し、静かな山間の温泉郷です。その歴史は古く、約250年前の古書にも記されているほどで、その後、温泉は埋もれてしまいましたが、昭和48年に、旧国鉄のトンネルの調査中に再発見されました。湯量は豊富で、泉質はpH値9.7のアルカリ性の単純硫黄泉のツルツルの湯が自慢で、美人の湯と言われています。確かな効能を誇る天然温泉は、南信州随一の温泉として広く知られるようになりました。

尾島ねふた祭り・・・今年も多くの人出でにぎわいました

尾島ねふた祭りは今年も8月14、15日と晴天の中盛大に行われました。三菱ねふたは14日(火)予定通り午後6時陽がかげり出した頃、社員、OB計二百数十名参加による出陣式を経て尾島の街にくりだしました。屋台店と見物客いっぱいのごった返す商店街の夜空に、高さ7メートルに及ぶねふたと女性の叩く大太鼓の音は勇壮、可憐で見物客の溜飲を下げおおいに楽しませてくれました。ちなみに14日は9万人、15日は8万人で合計17万人との公式発表でした。



将棋を指してみませんか VI

小学1年生～6年生を対象に、毎月第4土曜日「将棋クラブ」が尾島行政センターで開催されています。「将棋で礼儀作法を学ぶ」という講座がありました。

その1. ☆ 駒を並べるとき作法

- ① 駒箱は上位者(段級が上、または年長者)が開ける。 ② 上位者が「王将」、下位者が「玉将」を定位置におく。 ③ 駒を並べたら、上位者が余りの歩を駒箱にしまう。

その2. ☆ 振駒(先手、後手の決め方)

- ① 上位者が自分の歩を5枚振る。 ② 「振り歩先(ふせん)」(歩が多かったら振った人の先手)となる。

【養生訓】 江戸時代の「食のはなし」(5)

☆☆ 食後、にわかにならぬ時の手当 ほあけぼちいあ の「つれづれのまま」

およそ人の食後に俄(にわか)にならぬにわづらひて死ぬるは、多くは飲食の過て、飽満し、気をふさげばなり。初(はじめ)まづ生薑(しょうが)に塩を少し加へてせんじ、多く飲(のま)しめて、多く吐(はか)しむべし。其後食滞を消し、気をめぐらす薬を与ふべし。卒中(そっちゅう)風として、蘇合円・延齡丹など与ふべからず。あしし。又少(すこし)にても食物を早く与ふべからず。殊にねばき米湯など与ふべからず。氣弥塞(いよいよふさが)りて死す。一兩日は食をあたえずしてよし。此病は食傷なり。世人多くはあやまつて卒中風とす。其治癒せず。 < 続く >

第57回 ゴルフ愛好会コンペ

順位	氏名	GRS	NET
優勝	長谷川正男	89	69.8
準優勝	坂田 修	74	70.4
3位	岡部 勇	79	70.6
4位	田口 勝也	84	70.8
5位	関根 詔三	88	71.2
6位	萩原十四夫	79	71.8
7位	篠原陽治郎	84	72.0



8月1日(水)に大間々ゴルフ倶楽部に於いて、第57回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。連日猛暑日が続いていて、当日も暑くなることが予想されましたが、気温も猛暑日1歩手前で時折吹く風が気持ち良く感じられまあまあのコンディションの中ゴルフを楽しむことが出来ました。今回は暑さのせいかな不参加の人が多く25名の方の参加で実施しました。コンペの結果はハンデキャップに恵まれた長谷川正男さんが初優勝をしました。今回は大間々ゴルフ倶楽部のハーフコンペに参加でき25名中12名の方が賞品をゲット出来ました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。次回の大会は10月9日(火)に予定しています。(上武ゴルフ場)

【 会員投稿 】 上州を彩った文人たち (その2)

ひまじん

文人たちなどと、使い慣れない用語を タイトルに使ったことが気になって、改めて辞書を引いてみた。文人に対する言葉は「武人」とあり、「文人」とは非常に広い意味に使われていて、軍事以外の文事にたずさわる人とある。ようするに、政治家・学者まで含める言葉らしい。

本稿ではこのように使うと、幅が広すぎて手に負えなくなるので、文学者という狭い範囲に限定していることをお断りしておきたい。

萩原 朔太郎と萩原 葉子



萩原朔太郎

朔太郎といえば、彼の詩が国語の教科書等によく掲載されるので、彼の名前を知らない人は少ないだろう。

まともに紹介するのも、味がないので、話を逆にして、葉子の方から始めてみる。

萩原葉子は朔太郎の長女で、大正9年生れである。

著名な詩人の子供なら、さぞかし芸術性豊かな環境で育ったと、想像しがちだが、彼女の書を読んでも、全くアテがはずれた。「私が八歳の時に父母が別れ、私と妹は父の故郷G県の祖父母の許に引取られて育った。朔太郎と一緒に暮したのはわずかの月日で、間もなく父は上京したのだった。・・・」

祖母にしてみれば、とんだ厄介者を背負わされた恰好で、その腹いせはすべて私達に当たり、それがまた泣きわめく原因となるという、手のつけられない状態だった。」

人生のスタートから、意地の悪い厄病神に取付かれたようなのだ。その後、上京、持家の建築転居、父の再婚失敗等々に遭遇するが、彼女が22歳のとき、昭和17年朔太郎は肺炎のため、55歳で死亡してしまう。

葉子は24歳で職場の先輩と結婚をし、長男も誕生するが、夫は奇妙な男で 夫婦の間は「努力をしても電流が流れない平行線で、地獄のくらし」と表現している。34歳のとき、協議離婚をした。その後、葉子は知人に勧められ『父・萩原朔太郎』を刊行したのは39歳、翌年この作品により日本エッセイストクラブ賞を受賞した。

娘が、偉大な作家・父のことを書いて、世に出たのは、森鷗外→森茉莉・小堀杏奴、幸田露伴→幸田文（「流れる」日本芸術院賞受賞）等が有名であるが、『父』に関する作は売れても、その後、筆でメシが食えるようになるのは、容易ではないのだ。

葉子は洋裁で生計を支えながら、エッセイだけでなく小説も手掛け、いつしか文筆家といわれるようになる。

代表作『葎麻の家』（イラクサと読む）を刊行したのは56歳のときだ。戦前、父の設計した世田谷の家で祖母・叔母・妹を含む女性中心の同居生活を書いているのだが、イラクサの葉茎のようにやたらにとげとげしくて、主人公を刺す様子がリアルでなやましい。

この作品で女流文学賞を受けた。

上の写真は、大正13年朔太郎38歳の時である。

明晰そうな澄んだ瞳、ほっそりとした容貌、今ふうにいえば“イケメン”である。彼の実家は前橋市中心街千代田町の医院であった。父は東大出の医師で下足番を置くほどに繁盛したとある。

当然あとを継ぐものと思われていたが、中学卒業後五高(熊本)・六高(岡山)・慶応等へ入退学を繰り返し、結局どこも卒業しなかった。27歳ごろより、詩や短歌の習作をはじめ、マンドリン倶楽部をつくる等自由気ままな生活をおくる。

31歳のとき 詩集『月に吠える』を刊行、詩壇の好評をえた。詩のみならず、随想・評論等も発表し、室生犀星を通じ、文壇人との交遊も多くなる。

「文化的伝統のない環境が、自分を大胆な自由人にした。私が俳人にも、歌人にも、小説家にもならず、全く非伝統的な新しい文学であるところの詩を作り、詩人に成ったのはこのためである。」と書き残している。

彼はほとんど東京で暮したのだが題材は群馬に多くとった。‘新前橋駅’‘広瀬川’‘監獄裏の林’‘大渡橋’等々、前橋を都会の憂愁で飾った。バラ園の記念館・前橋文学館への散策をお奨めしたい。



朔太郎記念館

2012/06/16 20:59

最後に『国定忠治の墓』を転載しておこう。

「わがこの村に來りし時 上州の蚕すでに終りて 農家みな冬の鬩(しきみ)を閉したり。太陽は埃に暗く凄而(せいじ)たる竹藪の影 人生の貧しき惨苦を感ずるなり。見よ 此処に無用の石 路傍の笹の風に吹かれて 無頼の眠りたる墓は立てり。」(以下略)

会員投稿のご協力有難うございます。現在の未掲載原稿は、二件です。引き続きよろしくお願ひします。

● 今月の【 細野水彩画廊 】：『やまなみ』

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/hosono2012-09.pdf>

● 【 須永写真ギャラリー 】：『道(さった峠)』

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/sunaga2012-09.pdf>

◇ おしらせ ◇

行事	日時	場所	申込み、他 Telに市外局番のないものは0276です
9月の囲碁愛好会	9月10日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
9月の麻雀愛好会	9月6(木)、20(木) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 9/4日、18日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
9月の将棋愛好会	9月17日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
9月の グラウンドゴルフ例会	9月24日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
第58回ゴルフ愛好会	10月9日(火) 9:06 ~(集合8:30)	上武ゴルフ場	川口(56-2678) 関根(31-8410) 長谷川(0270-74-2056) 竹沢 宏(52-2271)
10月のカラオケ月例会	10月1日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 9月28日まで 大橋 浩 (52-3866) 江川 八郎 (52-1886)
10月のパソコンサークル	10月1日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
10月の幹事会	10月1日(月) 15:00~	労組会議室	
9月の編集委員会	9月24日(月) 13:30~	労組会議室	

**中央ろうきんは
ピンクリボン運動
を応援しています。**



「ピンクリボン運動」とは、
乳がんの正しい知識を広め
早発見・早期治療の大切さを
啓発する世界的な運動です。

Chuo
Rokin

低金利で安心! (中央ろうきん)のカードローン(マイプラン) ホームページにて仮審査申込み受付中!

<http://chuo.rokin.com> **お問い合わせは <中央ろうきん> 太田支店 tel.0276-46-5171**

全国のろうきんATM、セブン銀行ATMで
中央ろうきんカードをご利用いただくと、
お引出し・お預入れ1回につき **1円**を
中央ろうきんが負担し、公益財団法人日本対がん協会
「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付いたします。

カードローン「マイプラン」の
お取引も対象となります。

編集後記

菱の実会総会を終え早や5ヶ月、新役員になって毎月の幹事会や編集委員会等に参画する中各部会の積極的な活動並びに「菱の実だより」の作成にあたり会員からの寄稿等数多くの協力体制を目の当たりに見て諸先輩の築き上げた功績に自然と頭が下がる思いです。併せて、ボランティア活動を始め会員各位のご尽力・ご協力に深く感謝しております。今後、菱の実会の一役員として誠心誠意、諸活動を展開していきたいと存じ上げますので皆様のご支援・ご指導等宜しくお願い致します。(境野 利夫)

発行 2012-9-1 No. 233

発行責任者 二宮 平太郎

● 編集: 「菱の実会だより」編集委員会
〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内
Tel 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207